



2019清掃支部 春闘総決起集会開催!

2019年3月1日(金) 市労連会館5階講堂において、清掃支部春闘総決起集会が開催され、春闘勝利に向け多くの組合員、来賓が参加した。清掃支部春闘総決起集会が開催された。

冒頭、玉川支部長より「春闘は民間企業の賃上げ、ベアースアップが主で公務員には



あまり関係がないと思うかもしれないが、そうではない。働く人がこれからどんどん

少なくなっていく中で、現業職場でいえば、新人が入ってくるのはわずかで、同世代で働ける人が増えないところに喜んで入っていくとは思えない。試験に合格しても、毎年必ず辞退者が出るという状況です。清掃事業を守ったとしても、やる人がいないという状況になりかねません。賃上げの幅でいえば、圧倒的にこれから先は民間企業を上げるスピードの方が早いかもしれない。そうなると手を上げて公務員になる人はいなくなる。春闘が私たちと無関係ということではなく、これから先の職場をどうするのか、お金の問題だけではなく、大きく関わってくるのだと少し意識して持つて欲しい」とあいさつされた。

田村書記次長より、2019春闘を取り巻く情勢を踏まえ具体的な闘いの進め方として直営強化、賃金・労働条件改善、地域共闘、反戦・平和、反差別・人権、安全衛生活動、政治闘争これら7項目を基本とした方針が提起された。



春闘方針と要求説明

く、災害廃棄物も対応できることが数字にも表されている。

その様な観点からもより安全で安心な廃棄物行政を提供するためにも、何としても完全委託というのは免れなければならないと思っ

「ことを訴えたいうえで、要求説明として、賃金・労働条件におけるワークライフバランスの確保と会計年度任用職員制度について、対象となる臨時・非常勤の労働条件の整備を行うこと、労働安全衛生の取り組みについては、低量被ばくに関する知識や見分を広めるため、最新の情報を周知すること、廃棄物事業のあり方について、新規採用を拡充し、世代間人員の均衡化を図ること、将来的な施策の中長期的なマスタープランを作り上げるため、最新の情報を常に提供し共有すること、円滑な業務推進については、環境局としてなぜ差別が無くならないのか局として見解を述べることで、本庁職場における、書類等の保管場所の拡充について、強く働きかけを確保すること、障がい者雇用の促進と受け入れ体制充実について、環境局における現状の雇用率を高めすこと」という昨年との変更点を中心に説明がなされた。



分会だより 川崎分会

No.186

こんにちは川崎分会です。1974年に誕生した川崎生環も全盛期には20人以上の組合員が居ましたが長い

歴史に幕を閉じ、機能移転の為、3月末で終了します。昨年、最後の定期大会の時は、委任状を含めた組合員83名全員の参加で締めくく



また、収集曜日も変更になる為、仕事終了後、職員全員で収集曜日ボードの貼り替え作業を行ってしま

清掃支部も応援しています!



△川崎区・現 飯塚まさよし



△高津区・現 ほりぞえ 健



△自治労組織内候補・岸 まきこ



△多摩区・現 霧木あけみ

隣にいる仲間を想う

〜在日外国人と日本人は国籍・民族を超えていけるか〜

第16回

林慶一

●いつの間にかみんなレポート提出し知らなかったのはオレだけ？

ヨンスが延世(ヨンセ) 大学商学部経営学科を志望 校に選んだのは、同じ敷地 にある語学堂に通っていた ので馴染みがあったのと、 募集人数が多かったからで した：というのは建前で、 噂によると延世大学はかな りミッティン(meeting)ミッ ティング(韓国ではなぜ か合コンのことをこう呼 ぶ)が頻繁に開かれ、なか でも経営学科は実施回数が ダントツらしいのです。そ んな理由もあり(?)教育 院での一年間の努力の結果 無事合格し、晴れて延世大 学の学生となったのでし た。ヨンスが入学した年は、

当時次期大統領候補だった 盧泰愚(ノ・テウ)が「民主 化宣言(※1)」をしたの ですが、その内容や経緯が 納得いかないと、学生を中 心に反政府運動が激しくな っていた年でした。日本 にいるとき周りの大人たち から、韓国は日本に比べて 政治が不安定なので特に留 学生が反政府的な言動をす ると危険だ、と言われてい たので、こうした運動には 関わらないようにしていま した。しかし延世大学は運 動の中心メンバーが在籍し ている、「民主政府樹立」と か「独裁政権粉砕」だとか 「民族統一」など、断片的

に運動のキーワードとなる 言葉が聞こえてきました。 そこへ同じ経営学科の二年 生、李韓烈(イ・ハンニョ ル)先輩が戦闘警察(デモ などを鎮圧させるために武 装した警察隊)の打った催 涙弾に当たって死んでしま うという悲劇もあつたため 運動は激化し、催涙弾に打 たれて倒れそうなハンニョ ル先輩を支えている仲間が 描かれたイラストの旗やポ スターが校内のあちこちに 掲げられようになりました。 運動は他校の学生や高 校生、社会人にまで拡がり、 デモが連日行われました。 デモが激しい期間は「授業 拒否」とか「試験拒否」と 書かれた掲示板が貼られ、 実際に授業や試験を実施し

ない科目もありました。あま りにも催涙弾の被害が酷い ので、しばらく学校に通えな い状態が続きました。しばら くしてデモが落ち着いた頃、 軍事教練の授業の一環で、二 週間の宿泊訓練がありました。 女子学生と留学生は軍事 教練の授業と宿泊訓練は免 除され、ヨンスも当然免除に なっているのですが、この期 間は授業が休みにになります。 これがサボり癖の始まりで した。「宿泊訓練」の影響で すっかりヨンスは学校に行 かなかつてしまいました。 夏休み直前になって、さすが にまずいと思い、久しぶりに 学校に行きました。学生会館 に行ってみると金秀哲(キ ム・スチョル)がいました。 スチョルは大学に入って初 めての授業で隣合わせた学 生で、出席番号が近いため、 よく一緒に授業になるので 話すようになりました。スチ ョルは、成績表が出ているか

ら指導教授室まで取りに行 った方がいいよ、と教えてく れました。授業も試験もなし で成績なんか出るのかな? と不思議に思いながら指導 教授室まで行くと、指導教授 がこれ以上ない仏頂面でヨ ンスに嫌みを言いました。 「君は裏口入学なの?みん なレポート提出しているの に、君だけが未提出だから何 か裏の事情があるのかと思 っていたよ」ヨンスは、レポ ート?と思いつながら成績表 を開くと、十二科目中九科目 が赤字でした。指導教授が言 うには、今学期はあまり授業 ができず試験も実施しなか った科目が多かつたのでレ ポートを出すように通達し たはず、この成績表の評価内 容はすでに決定事項で再試 験もなければ追加レポート も受け付けない、と言いまし た。しばらく学校に行つてな かったヨンスはレポートの ことを知りませんでした、

それでもクラスメートとは 何回か顔を合わせていたし、 同じアパートのクラスメー トも何人かいたため、本来な らこの情報はヨンスにも伝 えられていたはずなのです。 なぜオレだけ知らされなか ったのだろう：クラスメー トはわざと自分にだけ教え なかったのか、それともそん な当たり前のことは知って いると思つていてあえて話 さなかったのかはわかりま せん。確かに入学して間もな い頃はみんな話しかけてき て一緒に食事したりもして いましたが、最近ほほとんど 誰も話しかけてこなくなり ました。そうなのは多分 自分が在日だからだろうと ヨンスは分析しました。親し くなると「出身高校は?」み たいな話になって、ヨンスは 「オレは日本の」と答える と、「ああ」という反応に なり、そのあとの会話が続か なくなるのでした。というこ

とは、日本から来た、と言わ なければ在日とはバレない ので、それだけ朝鮮語が上達 したということにもなるか らうれしくもありましたが、 日本から来たことが分かる とあからさまに態度が変わ り、ヨンスはなんともいえな い気持ちになるのです。そ れは以前ハンバーガー屋台 で、朝鮮語だけ話せ、と言わ れてケンカになった事件の 後に感じた悔しさにも似て いました。こんなに在日が疎 まれるのは、派手な生活をし ている一部の在日がいるの が原因のひとつといえまし た。彼らは親に半ば強制的に 韓国に送り込まれ、ふてくさ れていました。経済的にも比 較的裕福で金遣いも荒いの で、どうしても目にとまっ てしまうのです。そんな在日 の姿を見てよく思わないのも わかるような気がします。ヨ ンスは特に裕福な家庭で育 ったわけではありませんが、

こちらの若者に比べると明 らかに経済的に余裕のある 生活をしています。こうした 感覚の違いが彼らとの溝を 深くしているのではないかと 思うのです。どちらかという と「派手な」在日の生活 感覚の方がヨンスにはしつ くりくるといって自己矛盾も 感じていました。 (※1)一九八七年六月に、 盧泰愚が行った宣言。直接選 挙による平和的な政権交代 の実現と民主化運動に関わ った政治活動家の復権など が主な内容である。背景には 当時の大統領、全斗煥による 政治・軍事の実権を独裁的に 掌握しようとする動きに反 対する民衆の怒りがあり、反 政府運動が高まったためで ある。激化していった直接の きっかけは、政府による学生 運動家の拷問致死事件が発 覚したことによる。

分会教宣部長の声

こんにちは南部分会教宣 部です。春の気配も感じられ

る今日この頃ですが、職員全 員で新年度に向けて最後の 追い込みに入っています。

今回は南部分会独自の全 体集会に関して皆さんにお 伝えしようと思えます。分会 執行委員会が行われた後、話 した内容を職員にいち早く 伝える為、お昼の休憩時間 を 利用しながら分会主催の全 体集会を行っています。その 時々で面白い話題や厳しい



事など、集会の担当者であ る平野副分会長が独特の表 現でわかりやすく丁寧に伝 えています。また、これか ら名称を改め新川崎分会と して出発します。全ての分 会員が支部、分会の取り組 みに参加できるように全体 集会を継続し、教宣部も一 緒になって活動していきたく と思います。



南部分会としては最後の 記事となりますが、これか らもよろしくお願いまし ます。

第1回ユース部長会議開催!

2019年3月7日(木)

市労連会館5階講堂におい て、第1回ユース部長会議が 開催された。

ユース部としての初めて の会議ということで、初めに 田村書記次長から「この間、 青年部・女性部から、ユース 部へと変更されることが議 論され、ユース世代が集まっ て、悩みや色々な話ができる ような関係性を構築しても

らい、ユース部独自の場作り や、楽しい活動の企画立案を 積極的に行ってもらい、ユース 部があつてよかつたと言っ てもらえるような部にして 頂きたい」とのあいさつがあ った。

会議の内容としては、ユース 部になった経過や今後の 活動予定として、今年度はユース部独自のレクリエーシ ョンを企画していくことが 今後ユース部員の積極 的な参加をお願いしたい。 (ユース部長 山崎)